

平成26年度 高冷地水稻生育速報(第1報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月2日調査)

品種名	年度	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
コシヒカリ	本年	21.5 (85%)	76 (63%)	2.8 (-0.8)	28.0 (-2.4)	5.2 (-0.5)
	前年	24.9	131	3.7	32.6	5.7
	平年	25.3	121	3.6	30.4	5.7
ひとめぼれ	本年	18.4 (76%)	78 (66%)	3.1 (-0.1)	29.9 (+1.1)	5.2 (-0.5)
	前年	22.5	147	4.1	35.0	5.9
	平年	24.1	119	3.2	28.8	5.7
たかやまもち	本年	21.4 (83%)	96 (97%)	2.8 (-0.5)	28.3 (+0.6)	5.7 (+0.2)
	前年	24.7	110	4.0	33.3	5.8
	平年	25.9	99	3.3	27.7	5.5
ひだほまれ	本年	18.5 (70%)	75 (78%)	2.8 (-0.5)	26.8 (-1.3)	5.6 (-0.1)
	前年	23.6	100	3.7	31.5	5.7
	平年	26.6	95	3.3	28.1	5.7

栽培条件: 移植5月15日 栽植密度18.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a

ただし、H25年度以前の栽植密度は 22.2株/m²

平年値: 過去5年間(H25年~H21年)の平均値

()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 気象概況

5月の気温は、平年より1℃程度低めとなっている。特に晴天による放射冷却の影響もあり最低気温が低かった。5月末になり軒並み気温が平年を超え5℃以上暖かい日が続いた。

2) 生育状況

草丈は、平年対比70~85%といずれの品種も短めとなっている。

茎数は、分けつがやっと始まったところであり、いずれの品種も平年より少なめとなっている。特に「コシヒカリ」「ひとめぼれ」が平年の70%弱と、かなり少なくなっている。

葉色は、いずれの品種も平年より値が低くなっている。

葉齡は、いずれの品種も遅れており、特に「コシヒカリ」「ひとめぼれ」が平年より0.5令程度遅れている。

3) 病害虫等の発生状況

雑草は、5月下旬より初期発生がみられるようになった(ウリカワ)。藻類や表層はく離はそれよりもやや早くから発生が見られた。このことから表層はく離により雑草の発生が確認できなかったことが考えられ、はく離の下の層で雑草の生育が進んでいることが考えられるため、今後注意を必要とする。

イネミズゾウムシによる食害痕が昨年と同時期の5月第6半旬になり散見されるようになった。

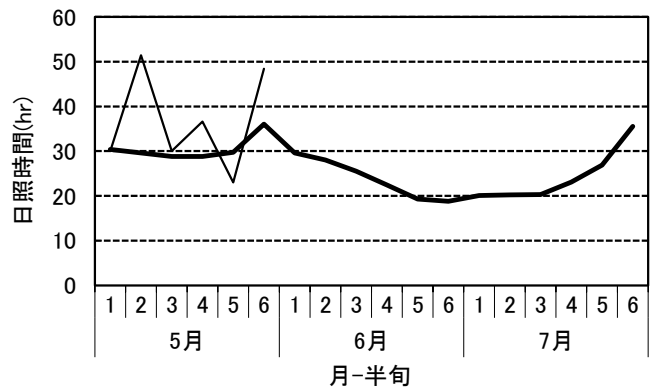
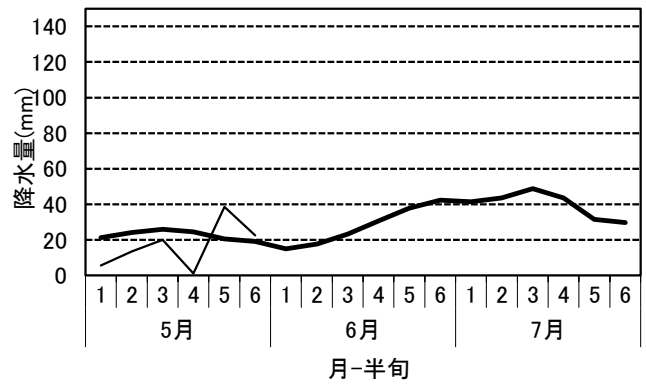
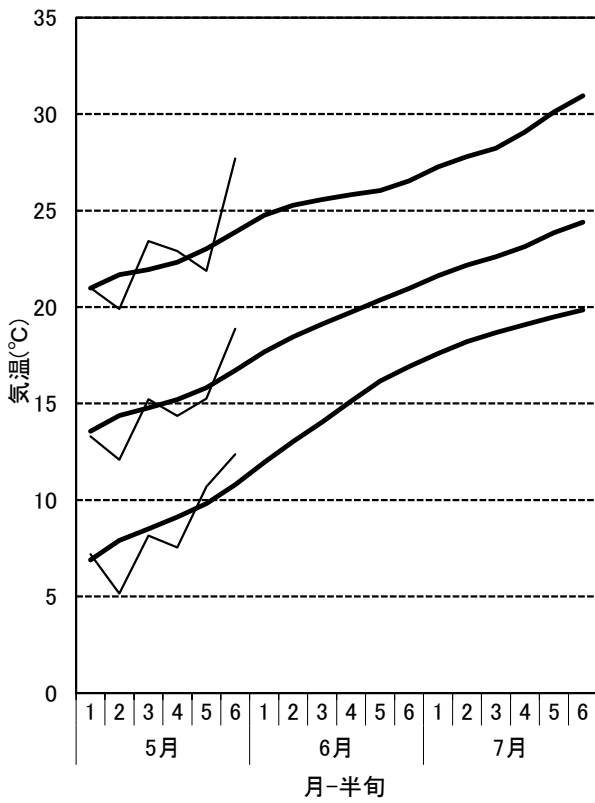
4) 今後の管理

生育促進、土壌中のガス抜き及びアオミドロ・藻類対策のため、早期中干しを実施すると良い。

早期中干しによる除草剤の効果の低下も心配されるが、落水の後2~3日干し入水する。干し加減は、田面に細いヒビが入る程度で、決して干し過ぎず田面を軽く固める程度とする。早期中干しの後は、間断かん水とする。

生育の遅れは、気温の上昇に伴い、これから回復すると思われるため当面追肥は見合わせた方が良い。また低温の心配がない場合は浅水で管理し地温の上昇に努めることや早期中干しにも生育の促進が期待できる。

<参考> 半旬別気象図(高山市アメダス, 5月31日現在)



— 平年(1981~2010年) — 本年(2014年)

岐阜県中山間農業研究所
 TEL 0577-73-2029
 FAX 0577-73-2751
<http://www.cc.rd.pref.gifu.lg.jp/k-agri/>